

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育施設課長 松本 洋子	電話番号	0852-22-5909
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	産業教育設備整備事業		
目的	(1) 対象	専門高校の生徒に対して	
	(2) 意図	産業に関する高度な知識・技術を習得できる教育を受けられるように	
事業概要	専門高校の生徒が産業教育を受けられるように、必要とされる産業教育設備を整備する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			指標名	専門高校における教育用コンピュータ1台あたりの生徒数	目標値		4.00	4.00	4.00
式・定義	生徒数÷台数		実績値	3.00	3.00	3.00	2.50		
			達成率		125.00	125.00	137.50		%
式・定義	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	357,661	209,445
うち一般財源(千円)	352,533	209,445

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

教育用コンピュータについては、目標とする1台当たり生徒数を達成しており、これらについては、計画的な更新を行っている。コンピュータ以外の機器については、限られた予算の中で更新が遅れているものがある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 産業教育設備緊急更新事業の実施により、更新が懸案となっていた設備の一部更新が図られた。
- 早期にOSサポート切れへの対応方法を検討し、計画的な予算措置・更新により適切な対応が出来た。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

産業教育設備のうち、工作機械等の老朽化した設備が存在している。

②困っている状況が発生している「原因」

限られた財源の中、老朽化設備が、適切な時期に更新出来ない。

③原因を解消するための「課題」

- 老朽化した産業教育設備を適切な時期に更新していくための予算の継続確保。
- 産業教育上必要な設備の精査が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

財政状況の厳しい中、指導要領等から産業教育上必要な設備の精査や利用状況も勘案しつつ計画性のある整備を行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）